

平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年7月28日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 シマノ

コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 島野 容三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 平田 義弘

TEL 072-223-3254

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日

平成21年9月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	90,057		8,619		9,097		6,565	
20年12月期第2四半期	115,497	15.7	19,512	36.3	18,837	30.5	12,509	23.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	68.46	
20年12月期第2四半期	130.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	198,362	173,289	87.1	1,800.75
20年12月期	193,238	165,768	85.4	1,721.36

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 172,700百万円 20年12月期 165,088百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期		30.50		30.50	61.00
21年12月期		30.50			
21年12月期(予想)				30.50	61.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	17.1	24,500	35.2	25,500	30.5	17,500	30.4	182.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第2四半期	96,003,207株	20年12月期	96,003,207株
期末自己株式数	21年12月期第2四半期	98,461株	20年12月期	97,526株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第2四半期	95,905,118株	20年12月期第2四半期	95,969,211株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としています。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、昨年秋以降に拡大した米国発の金融危機の影響が続き、主要先進国の景気後退と新興国の成長減速により、世界同時不況といわれる局面となりました。各地で個人消費が大幅に減退し、為替変動による影響とともに、製造業・輸出産業は強い打撃を受けています。

こうした状況のもと、当社グループは「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよこびに貢献する。」を使命に、お客様の自転車ライフ・フィッシングライフをより豊かにするため、こころ躍る製品づくりに邁進してまいりました。

しかしながら、世界同時不況の影響および在庫調整の圧力により、自転車部品事業、釣具事業ともに販売が低迷し厳しい状況に置かれました。

この結果、第2四半期連結累計期間売上高は90,057百万円、営業利益は8,619百万円、経常利益は9,097百万円、四半期純利益は6,565百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

自転車部品事業

普及価格帯自転車の需要は、世界的な経済危機の影響を受けた消費者の購買意欲の低下により、国内、海外市場ともに大きく落ち込んでおりましたが、需要の低下については底を打ったのではないかと考えられます。しかしながら、市場の在庫調整には一定の時間を要することから、当期における当社普及価格帯製品の出荷回復には繋がりませんでした。

また、世界的な健康と環境への関心に後押しされた中高価格帯のスポーツ自転車に対する消費者の需要は、日米欧ともに依然として底固いものがあります。しかしながら、市場における在庫圧縮志向が顕著になったことや、実際の在庫調整が当初予想されたよりも長引いたことにより、当社の中高価格帯製品の出荷は一時的に減少したままに終わりました。

この結果、当事業の売上高は68,121百万円、営業利益は8,324百万円となりました。

釣具事業

国内市場では新製品による増収効果はあったものの、昨年後半からの不況感および小売段階における在庫調整の圧力によりまして、売上高は前年をわずかに下回る結果となりました。

また、海外市場におきましても、世界経済の急激な悪化の影響により、特に高機能・高価格帯製品の販売が不振で、売上高は前年を大きく下回りました。

この結果、当事業の売上高は21,318百万円、営業利益は521百万円となりました。

その他事業

その他事業の売上高は618百万円、営業損失は226百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は198,362百万円(前連結会計年度比5,123百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が18,788百万円増加し、受取手形及び売掛金が8,775百万円、たな卸資産が7,233百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(総負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債は25,072百万円(前連結会計年度比2,397百万円の減少)となりました。これは、買掛金が2,104百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は173,289百万円(前連結会計年度比7,521百万円の増加)となりました。これは、主として利益剰余金が3,631百万円増加したこと等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、57,444百万円(前連結会計年度比18,935百万円の増加)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、28,800百万円の増加となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益9,097百万円、売上債権の減少9,726百万円等によるもので

す。また主な支出要因は仕入債務の減少2,347百万円、法人税等の支払額2,340百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,608百万円の減少となりました。主な支出要因は有形固定資産の設備投資4,759百万円、子会社株式の取得による支出2,167百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,587百万円の減少となりました。主に配当金の支払2,921百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年4月28日に公表しました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

たな卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。

これにより四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,102	42,314
受取手形及び売掛金	22,417	31,192
商品及び製品	19,469	22,508
仕掛品	12,722	16,560
原材料及び貯蔵品	4,661	5,017
繰延税金資産	2,304	1,957
その他	2,251	3,293
貸倒引当金	407	352
流動資産合計	124,522	122,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,667	16,502
機械装置及び運搬具(純額)	10,903	10,349
土地	11,752	11,692
建設仮勘定	2,481	880
その他(純額)	3,793	3,912
有形固定資産合計	45,598	43,337
無形固定資産		
のれん	4,363	3,816
ソフトウェア	4,651	5,178
ソフトウェア仮勘定	49	113
その他	3,536	2,853
無形固定資産合計	12,600	11,961
投資その他の資産		
投資有価証券	10,257	9,990
長期貸付金	40	45
繰延税金資産	3,440	3,346
その他	2,469	2,632
貸倒引当金	566	567
投資その他の資産合計	15,640	15,446
固定資産合計	73,839	70,746
資産合計	198,362	193,238

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,664	6,768
短期借入金	1,717	2,304
未払法人税等	3,157	2,101
繰延税金負債	487	768
賞与引当金	917	937
役員賞与引当金	77	132
その他	8,943	9,184
流動負債合計	19,967	22,197
固定負債		
長期借入金	1,399	2,019
繰延税金負債	1,050	675
退職給付引当金	1,410	1,347
役員退職慰労引当金	1,179	1,140
その他	64	89
固定負債合計	5,105	5,272
負債合計	25,072	27,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,823	5,823
利益剰余金	140,636	137,004
自己株式	394	391
株主資本合計	181,678	178,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,564	1,658
為替換算調整勘定	7,412	11,302
評価・換算差額等合計	8,977	12,961
少数株主持分	589	680
純資産合計	173,289	165,768
負債純資産合計	198,362	193,238

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)
売上高	90,057
売上原価	60,232
売上総利益	29,825
販売費及び一般管理費	21,206
営業利益	8,619
営業外収益	
受取利息	282
受取配当金	93
その他	893
営業外収益合計	1,269
営業外費用	
支払利息	209
その他	581
営業外費用合計	791
経常利益	9,097
税金等調整前四半期純利益	9,097
法人税、住民税及び事業税	3,294
法人税等調整額	804
法人税等合計	2,490
少数株主利益	41
四半期純利益	6,565

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成21年1月1日
 至平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	9,097
減価償却費	4,663
受取利息及び受取配当金	375
支払利息	209
売上債権の増減額(は増加)	9,726
たな卸資産の増減額(は増加)	9,244
仕入債務の増減額(は減少)	2,347
有形固定資産除売却損益(は益)	44
未払賞与の増減額(は減少)	1,270
その他	414
小計	31,117
利息及び配当金の受取額	344
利息の支払額	321
法人税等の支払額	2,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	4,759
無形固定資産の取得による支出	306
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	2,167
その他	625
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	766
配当金の支払額	2,921
短期借入金の純増減額(は減少)	741
少数株主への配当金の支払額	155
その他	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,587
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,331
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	18,935
現金及び現金同等物の期首残高	38,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,444

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	自転車部品 (百万円)	釣具 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	68,121	21,318	618	90,057	-	90,057
(2)セグメント間の内 部売上高	-	-	-	-	-	-
計	68,121	21,318	618	90,057	-	90,057
営業利益又は営業損失 ()	8,324	521	226	8,619	-	8,619

(注) 1 事業の区分は、製品の用途による区分によっております。

2 各事業区分の主な製品

- | | |
|-----------|--------------------------|
| (1) 自転車部品 | フリーホイール、フロントギア、変速機、ブレーキ他 |
| (2) 釣具 | リール、ロッド他 |
| (3) その他 | 冷間鍛造品、スノーボード関連用品他 |

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	58,780	11,085	11,790	6,712	1,687	90,057	-	90,057
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	10,469	228	1,365	24,518	2	36,583	(36,583)	-
計	69,250	11,313	13,156	31,231	1,690	126,641	(36,583)	90,057
営業利益	2,991	261	1,166	4,073	125	8,619	-	8,619

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

- | | |
|-----------|--|
| (1) 北米 | アメリカ合衆国、カナダ |
| (2) ヨーロッパ | オランダ、ドイツ、イギリス、イタリア、ベルギー、フランス、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、チェコ、ポーランド |
| (3) アジア | シンガポール、マレーシア、台湾、中国、インドネシア |
| (4) その他 | オーストラリア |

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

【参考資料】

前第2四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	115,497
売上原価	74,173
売上総利益	41,323
販売費及び一般管理費	21,810
営業利益	19,512
営業外収益	1,137
1 受取利息及び配当金	827
2 その他	309
営業外費用	1,812
1 支払利息	278
2 その他	1,533
経常利益	18,837
税金等調整前四半期純利益	18,837
法人税、住民税及び事業税	3,781
法人税等調整額	2,473
少数株主利益	74
中間純利益	12,509

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	18,837
減価償却費	4,568
受取利息及び受取配当金	827
支払利息	278
有形固定資産除売却損益	112
売上債権の増減額	1,664
たな卸資産の増減額	4,413
仕入債務の増減額	104
未払割戻金の増減額	180
その他純額	422
小 計	19,513
利息及び配当金の受取額	788
利息の支払額	276
法人税等の支払額	8,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	4,281
無形固定資産の取得による支出	318
投資有価証券の取得による支出	7,749
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	393
その他純額	301
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	908
配当金の支払額	1,963
少数株主への配当金の支払額	22
その他純額	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の増減額	4,486
現金及び現金同等物の期首残高	52,691
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,205

(3)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	自転車部品	釣具	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
1)外部顧客に対する売上高	88,912	24,893	1,690	115,497	-	115,497
2)セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	(-)	-
計	88,912	24,893	1,690	115,497	(-)	115,497
営業費用	71,648	22,669	1,666	95,984	(-)	95,984
営業利益	17,263	2,224	24	19,512	(-)	19,512

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 平成20年1月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
1)外部顧客に対する売上高	80,359	9,429	14,998	9,998	709	115,497	-	115,497
2)セグメント間の内部売上高	14,476	367	1,843	36,184	0	52,872	(52,872)	-
計	94,835	9,797	16,842	46,183	710	168,369	(52,872)	115,497
営業費用	84,783	9,302	14,885	39,289	596	148,857	(52,872)	95,984
営業利益	10,052	495	1,957	6,893	113	19,512	-	19,512